



新しいまちづくり制度

第三中学校区
まちづくり円卓会議

1.円卓会議の目的

- 平成20年7月、大阪狭山市が「新しいまちづくり制度」の創設を発表。
- その発表に則り、
 - 「地域の事は地域で考え
地域で実践する！」
という市民自治の究極を示す。

• 具体的には、

◎多くの市民に身近なところから、まちづくりに主体的に関わる市民自治への契機づくり。

◎より市民ニーズに即した事業選択

◎地域内コミュニティの醸成や市民協働の推進

◎地域内で活動する各種団体の連携促進

2.沿 革

◎平成21年4月18日

茱萸木、岩室、南海金剛、池之原の地区長
を中心に設立準備委員会を立ち上げ。

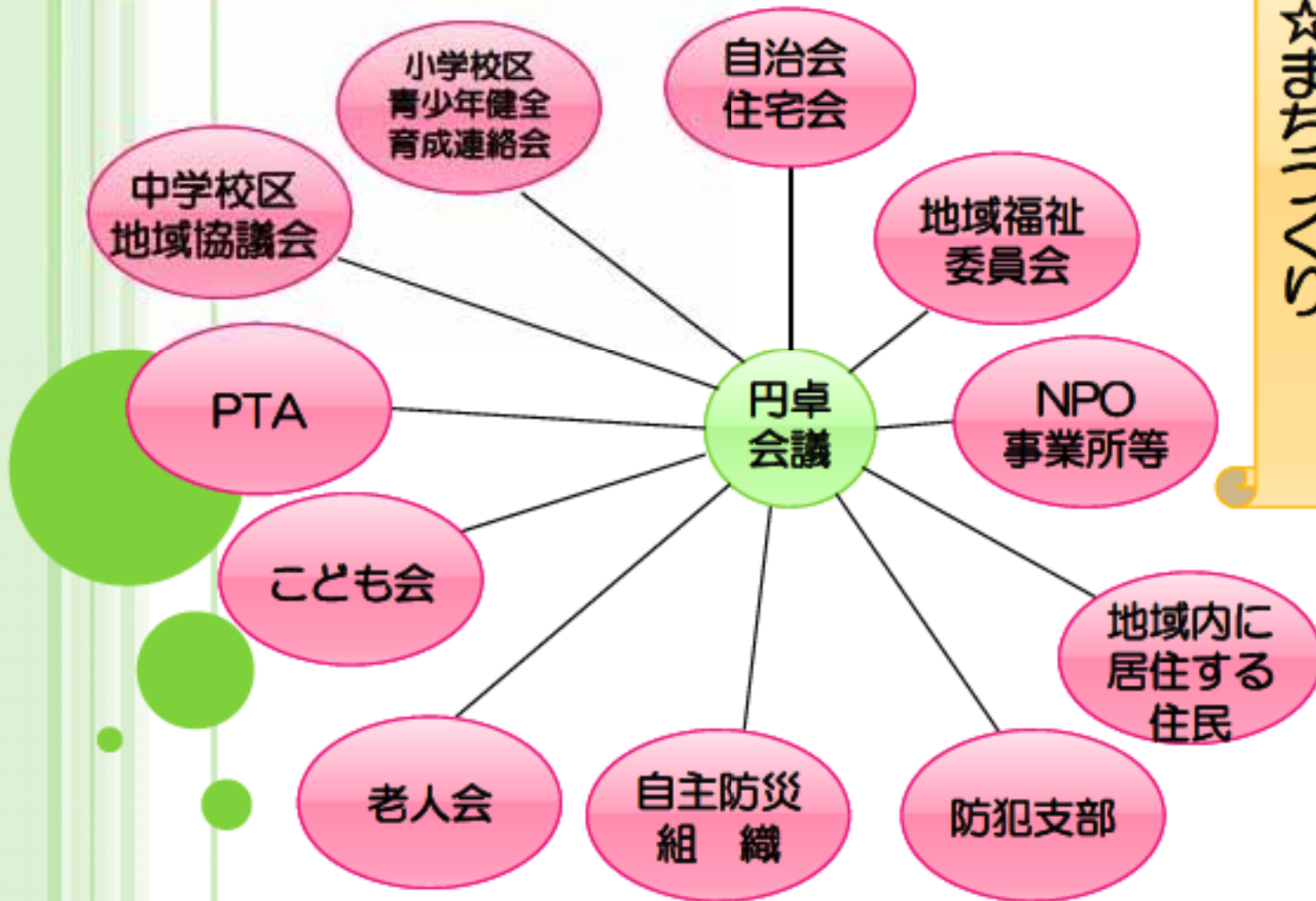
◎平成21年11月8日

設立総会開催

◎平成22年4月

●本格的に活動を開始

当時のまちづくり円卓会議のイメージ



☆みんなの力で
☆住んで楽しい
☆まちづくり

3.モットー



◎みんなで、

「ワイワイ」「がやがや」「楽しく」

- ・住んで楽しい！
- ・住んでみたい！
- ・住んでよかった！

と思える、まちづくりを行う。
(現在、構成員は80名)

4.事業予算

事業について予算申請した額

- 平成22年度 ¥402,000
- 平成23年度 ¥100,000
- 平成24年度 ¥1,760,000
- 平成25年度 ¥1,447,000
- 平成26年度 ¥2,080,000
- 平成27年度 ¥2,079,000

5.活動組織

①会議

- 総会（1回/年） 5月
及び
- 臨時総会 9月

- 役員会（随時）

- 幹事会（1回/2ヶ月、偶数月）



②組織

発足当時はどんな活動をするのか、構成員全員にアンケートを取り、事業内容の検討を実施。

- そこで提出された約50の案件が出て、集約した。

「第三中学校区まちづくり円卓会議」交流会 ～意見とアンケートの結果①（一部抜粋）～

●環境

- ①空き地に花壇をつくる花いっぱい運動を行う。
- ②休耕地が多いので活用を考える。れんげや花をつくり、児童と一緒に作業をすれば子どもの遊び場になり、子どもの育成に役立つと思う。
- ③帝塚山学院大学より「菜の花いっぱい運動」の提案がある。小・中学校・各家庭でプランターに菜の花を栽培し、油を搾る⇒給食センターに提供⇒最終的に廃油の回収運動に展開する。

●文化スポーツ

- ①第三中学校区地域協議会のサンネットフェスタの規模を大きくして、子どもだけでなく、親も参加できるように企画する。
- ②地域運動会、老若誰でも参加できるもの、昔行っていた町民体育祭のようなもの、企業や大学等にも呼びかける。
- ③将来のまちづくりについて、子どもたちの文章等を募集してはどうか。

「第三中学校区まちづくり円卓会議」交流会 ～意見とアンケートの結果②（一部抜粋）～

●第三中学校区区域内の交流

- ①交流会（意見交換会）ではなく、気軽に参加できるイベント等を実施し、参加者の増加を図るべき。まずは集まってもらう事が重要である。
- ②ホームページを作成したり、三中円卓会議新聞を発行したりして、三中円卓会議の情報を提供する。
- ③自治会内の交流はあるが、他の自治会との交流を深めるため、作業事業を通じて各地区に共通する課題は、三中校区でもさらに研究する。
- ④40～50歳代の人たちの参加しやすい仕組みを考える。

●第三中学校区まちづくり

- ①円卓会議の目的、必要性を明確にして実行する。
- ②三中校区は地域が広いので、何をやるにも校区全域が参加しやすいように考えていきたい。

最終的に4つのチームを編成



始動

円卓会議の企画と校区各イベントへの参加等



企画チーム

エコサイクル運動「菜の花いっぱい運動」



菜の花チーム



校区の再発見

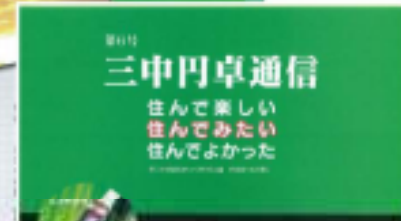


魅力再発見
チーム



第三中学校区まちづくり円卓会議

情報発信をする



広報チーム

6.チーム活動内容

企画チーム

①第三中学校区地域協議会

「サンネットフェスタ」への協賛参加。

- ・円卓PRコーナー、催し物への参加、
菜の花苗の無料配布。



②夏まつり

- 平成26年度より、地域交流と各地区の若頭・青年団など若手の方に参加してもらおう事を目的とし、
「夏まつり」を企画、実施。各地区の若頭、青年団の協力の甲斐あって1600人が参加した。



菜の花チーム



菜の花いっぱい運動の推進①

- 菜の花の種まき⇒花を楽しむ⇒種を持ち寄り⇒搾油⇒料理油として使用⇒廃油回収⇒バイオディーゼル油を精製⇒ディーゼルエンジン駆動というエコサイクルを目指す。
- 現在は、まず「菜の花の種まき⇒花を楽しむ」までを主活動として、公共施設に100個のプランターを置き花いっぱい運動を展開中。
また、校区の小学生・幼稚園児の方々に菜の花を写生してもらい、焼き肉「のて」に135人の絵画を展示、好評を博した。

菜の花いっぱい運動の推進②

- また、校区に運動を広めるため、中学校区地域協議会である「サンネットフェスタ」にて、3年前より菜種苗を無料配布し、地域への展開を図っている。



それ以外の活動として、

- ① 廃油からろうソクの製作をし、狭山池まつりの灯火輪に試用。



- ② バイオディーゼル油の研修会へ参加

魅力再発見チーム



第三中学校区の魅力再発見活動。

- 各担当者が地区を歩きまわり、写真撮影と共に魅力再発見場所のマップ作りを実施。
- マップ製作に当たっては、地図の記載規制、ウォーキングルートの検討等会合を複数回開催し、自らの足で歩き、多くの苦勞を重ねマップ完成に至った ⇒ 「三中円卓マップ」
- 平成26年秋まで、苦勞して製作したマップを使用して3つのコースを市史編さん室の市職員を講師として招き、マップ片手に地元を再発見し続けている。



この再発見こそが目的！

広報チーム



広報誌作り

- ・ 7名で、ワイワイ・がやがや・楽しく手作り感を大切にしながら製作し、広告等の募集はせず、文字の少ない見やすい広報誌作りを実施。
- ・ 現在までに「三中円卓通信」を6号発刊し、現在7号を製作中。

第三中学校区まちづくり円卓会議

(イメージ図)



第三中学校区まちづくりは、
地域のつながりをつくっていく！

夏まつりを開催

平成26年8月30日、市立総合体育館・野球場で、第三中学校区円卓会議が主催する「夏まつり」を開催しました。これは地域が一体となって取り組んだ催しです。

地域の人が運営する模擬店やつかさ会が音頭をとる納涼盆踊りなどを行いました。

この夏まつりに1600人の市民が参加し、子どもから大人まで多くの方が賑わっていました。



ご清聴、
ありがとうございました！

